

平成28年度 柏ひがし幼稚園
自己評価

I. 保育の計画性

内容	評価
1. 園の教育理念や教育方針を理解	
①園の教育理念や教育方針の理解し、共感している	(A)・B・C・D
②園の方針、園長の考え方について、園長や主任と話し合い、保護者に説明できる	(A)・B・C・D
2. 幼稚園教育要領の理解	
①幼稚園教育要領の理解し、幼児の姿や環境とのかかわりなど、思い浮かべることができる	(A)・B・C・D
3. 教育課程の編成と評価	
①園の教育課程は、教育要領を踏まえ、教育理念・教育方針に従い構成している	(A)・B・C・D
②1年間の子どもの成長を振り返り、教育課程を評価している	(A)・B・C・D
③園の教育課程は、社会状況や幼児の実態、地域性を考慮し、必要に応じて見直している	(A)・B・C・D
4. 指導計画の編成と評価	
①指導計画は、幼児の興味や関心、これまでの生活や予想されるこれからの生活を考慮し作成している	(A)・B・C・D
②行事は、幼児の生活上の意識を十分に検討したうえで、指導計画に組み入れている	(A)・B・C・D
5. 環境の構成	
①計画に基づいて、幼児が主体的に関わりたくなるような安全かつ清潔感のある環境構成をしている。	(A)・B・C・D
②楽しい雰囲気の中で、安定して遊ぶ込めるように遊具・用具・教材を配慮し環境構成をしている	(A)・B・C・D
③幼児の活動がより豊かになるよう幼児の発想を柔軟に取り入れ、環境構成をしている	(A)・B・C・D
④幼児の発達を見通し、季節の変化に応じた環境構成をしている	(A)・B・C・D
⑤異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている	(A)・B・C・D
6. 保育と計画の評価と反省	
①自分の保育と評価・反省について次の保育に生かせるように行っている。	(A)・B・C・D
②お互いに保育を見せ合い、検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育につなげている。	(A)・B・C・D

A. 十分達成できている B. まあまあ達成できている C. あまり達成できていない D. まったく達成できていない

Ⅱ. 保育の在り方、幼児の対応

内容	評価
1. 健康と安全と配慮	
①朝の登園時は、特に視診を大切にして幼児の体調を確かめている	A・B・C・D
②体調が悪そうな時は、静かに見守り検温をするなど適切な処置をし、家庭連絡をしている	A・B・C・D
2. 幼児のみとりと理解	
①幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、心の動きを推察し、基本的な欲求を満たすように配慮している	A・B・C・D
②クラスの幼児の活動が、見える所及び見えない場所でも、ある程度推察できる	A・B・C・D
③個々の幼児の発達の姿や課題について見通しをもって理解できる	A・B・C・D
3. 指導とかかわり	
(心のよりどころとして)	
①幼児一人ひとりを観察し、ありのままの姿を受け入れ認めようとしている	A・B・C・D
②幼児との温かなやりとり、スキンシップを常に心がけている	A・B・C・D
③幼児の話をよく聞くようにしている	A・B・C・D
④“一人ひとり”と“みんな”の関係を常に考え、クラス・集団をまとめている	A・B・C・D
⑤笑顔・丁寧な言葉で幼児にかかわっている	A・B・C・D
(遊び・活動の援助者として)	
①幼児の遊びや活動を深めていくためのヒントやアイデアを提供している	A・B・C・D
②幼児を褒めたり、励ましたり、目当てを持たせるような言葉かけをしている	A・B・C・D
③禁止・命令・行動を急かせたり、自信を失わせたりする言葉や態度はできるだけ控えている	A・B・C・D
(その他)	
①幼児の家庭環境や、これまでの生育歴などを考慮してかかわっている	A・B・C・D
②障害児が入園しても、個別的対応やクラスの子どもとともに育ち合える保育を積極的に考慮している	A・B・C・D
4. 保育者同士の協力・連携	
①クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉かけや対応をしている。また、情報を共有している	A・B・C・D
②指導上配慮を必要とする幼児については、園全体で話し合い共通理解をもって、工夫して対応するようにしている	A・B・C・D
③他クラスや異年齢の幼児たちと触れ合うよう様々な工夫、保育の形態を取り入れている。	A・B・C・D

A. 十分達成できている B. まあまあ達成できている C. あまり達成できていない D. まったく達成できていない

Ⅲ. 保育者としての資質や能力・良識・適正

内容	評価
1. 専門家としての能力・良識・義務	
(専門家としての能力)	
①保育に携わる者として、専門知識や技能を身に付けている	A・B・C・D
②保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことをわかりやすく話すことができ、保護者との信頼関係に努めている	A・B・C・D
③保育者として、仕事の手順を考え能率よく行っている。他職員との調和を図ることに努めている	A・B・C・D
④保育者の人間性が子供たちに影響を与えることを自覚している	A・B・C・D
(良識とマナー)	
①幼児と保護者との対応には、公平を欠かさないようにしている	A・B・C・D
②朝と帰りの挨拶は明るく親しみを込めて行き、感謝の気持ちを言葉で表している	A・B・C・D
③園の消耗品や教材は節約して使い、私用に使ってはいない	A・B・C・D
④園の水、電気は、子どもとともに話し合いながら節約し、大切に使用している	A・B・C・D
⑤服装、髪型、身だしなみを心掛け、安全性にも気を付けている	A・B・C・D
(義務)	
①教材・教具の管理、整理整頓を実行している	A・B・C・D
②保育室・園内外の清掃や整理整頓を実行している	A・B・C・D
③月案・週案・日案等の提出物は、提出日に提出している	A・B・C・D
④締切のある仕事や提出物を守っている	A・B・C・D
⑤会議や打ち合わせの時間を守っている	A・B・C・D
2. 組織の一員としての在り方	
①他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べたりすることができる	A・B・C・D
②子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは、必ず園長・主任に報告・連絡・相談している	A・B・C・D
③当番や役割による仕事を理解し、確実にしている	A・B・C・D
④上司指示・命令には責任を持って実行している	A・B・C・D
3. まわりを感じ取れる感性・アンテナ	
①幼児や教育・保育に関する情報を日頃から積極的に得ようとしている	A・B・C・D
②社会情勢(日本・世界)や季節の変化などを感じ取る感受性を大切にしている	A・B・C・D
③新聞・保育雑誌は、積極的に読んでいる	A・B・C・D

A. 十分達成できている B. まあまあ達成できている C. あまり達成できていない D. まったく達成できていない

IV. 保護者への対応・守秘義務

内容	評価
1. 情報の発信と受診	
①一人ひとりの子供について、家庭での教育方針などを把握している	A・ B ・C・D
②クラスだよりなどで、保育実践の内容や意図、クラスや子どもの様子を、写真やイラストなどを利用してわかりやすく伝えている	A・ B ・C・D
③個々の子どもの様子は、直接話したり、連絡ノート・電話などを使って伝え合っている	A ・B・C・D
④保育参観や、保護者面談を定期的に行い、子どもについての保育や家庭のあり方について共通理解を得るように努めている	A ・B・C・D
⑤定期的にアンケート等にて保護者の要望を聞き、子どもにとってより良い環境作りに努めている	A・ B ・C・D
⑥保護者との情報交換の内容を、必要に応じて記録している	A ・B・C・D
⑦子育てを支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するように努めている	A ・B・C・D
2. 協力と支援	
①保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視したりしないで、報告や相談をしている	A ・B・C・D
②支援できる場所は、温かく受け入れる態度を心がけている	A ・B・C・D
3. 守秘義務の遵守	
①教職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他に漏らしたりしていない	A ・B・C・D
②秘密情報(保護者・園児・園の運営上の情報・保育計画)等については、園長の許可なく開示してはいない	A ・B・C・D
③秘密情報の記録が破損・改造されないように管理している	A ・B・C・D
④秘密情報の管理責任は法人にあることを認識し、持ち帰らない。持ち帰る時は、必ず持ち出し許可願いを園長にとつてる	A ・B・C・D
⑤秘密情報の書類・電子データのコピーは、園長の許可を得た時のみ行っている。終了後は適切に処分している	A ・B・C・D
⑥秘密情報について新たに知りえたことについては、直ちに園長に報告している	A ・B・C・D
4. 対応上のマナー・良識	
①正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて話しかけ、相手の話も落ち着いてしっかり聞いている	A ・B・C・D
②親しくなったからといっても、友達同士のような話し方はしていない	A ・B・C・D
③電話では、簡潔に要領よく対話することに心がけている	A ・B・C・D
④保護者からの依頼や伝言などについては、メモをするなどきちんと対応している	A ・B・C・D
⑤長期の欠席や入院等の場合は、見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている	A ・B・C・D
⑥保護者の国籍・思想・宗教により、子どもの性差・障がい・個人差によって、区別、差別していない	A ・B・C・D
5. クレームへの対応	
①保護者からのクレームがあった場合、まずは謙虚に話を聞き、園長に報告・連絡・相談している	A ・B・C・D

A. 十分達成できている B. まあまあ達成できている C. あまり達成できていない D. まったく達成できていない

V. 地域の自然や社会とのかかわり

内容	評価
1. 地域の自然・人々のかかわり	
①地域の人々と親しく挨拶や会話を交わしている	A・B・C・D
②地域の自然や期間を指導計画の中で位置づけている	A・B・C・D
③実習生を受け入れるときは、意義や方針を理解し、指導的立場で続けている	A・B・C・D
2. 小学校との連携	
①園の保育内容が小学校以降の生活や学習の基礎の育成につながることを理解している	A・B・C・D
②小学校の教育内容について理解するように努めている	A・B・C・D
③小学生が遊びに来るとこのできる場を設けている(行事等を含む)	A・B・C・D
④卒業した子どもの情報を得るように努めている	A・B・C・D
⑤小学校が園での子どもの育ちについて、どのような情報を必要としているか理解するように努めている	A・B・C・D
3. 地域の特徴を生かした保育の展開	
①高齢者との交流のために、老人施設等の訪問を積極的に行っている	A・B・C・D
②行事を通して、地域の病院、交番、郵便局、教会等に訪問を積極的に行っている	A・B・C・D
③親切なご近所の方々と、保護者も含めて積極的に交わり、子ども達の生活を豊かにするように心がけている	A・B・C・D

A. 十分達成できている B. まあまあ達成できている C. あまり達成できていない D. まったく達成できていない

VI. 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度

内容	評価
1. 研修・研究への意欲	
①研修会・研究会には自己課題を持って参加し、事前にその内容を確認したり、自分なりの考えをまとめたりしている	A・B・C・D
②自分の保育については、自己課題をもって計画と反省を行うとともに、保育の在り方や悩みについて他保育者、主任、園長と話し合っている	A・B・C・D
2. 遊具・教材に関する専門性の向上	
①園の遊具や教材について、その特徴や基本的な使い方は知っている	A・B・C・D
②園の遊具のどのような使い方が危険か予測できる	A・B・C・D
3. 今日的課題に関する専門性の向上	
①子供を取り巻く様々な状況について、拝啓・原因・実態について興味・関心を持っている	A・B・C・D
②アレルギー・自立の遅れなど、最近多くみられる問題について、興味・関心をもっている	A・B・C・D
③幼少連携の意義や在り方について、興味・関心を持っている	A・B・C・D
④子どもたちの安心・安全をに関する危機管理について、興味・関心をもっている	A・B・C・D
4. 自らを高めるための学習	
①保育の専門知識や技能の他に、興味や読書に関心がある	A・B・C・D
②ボランティア活動に関心がある	A・B・C・D

A. 十分達成できている B. まあまあ達成できている C. あまり達成できていない D. まったく達成できていない

学校法人ワタナベ学園 柏ひがし幼稚園
園長 小柴 和世